

平成30年（2018年）12月期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

（証券コード：3386）

2019.2.18

www.cosmobio.co.jp



目次



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要と事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3
2. 2018年当社を取り巻く事業環境・・・・・・・・ p.10
3. 2018年の取り組み成果と
今後の取り組み・・・・・・・・ p.15
4. 決算の概要および業績予想について・・・・ p.25

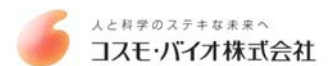
1. 会社概要と事業の内容

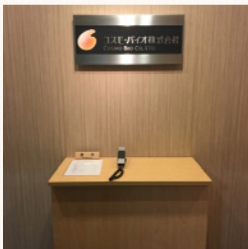
www.cosmobio.co.jp

© 2019 Cosmo Bio Co., Ltd.

3

会社概要



社名：	コスモ・バイオ株式会社	
本社所在地：	東京都江東区東陽二丁目2番20号	
代表者：	代表取締役社長 櫻井 治久	
設立：	1983年8月25日	
資本金：	918百万円	
事業内容：	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、 臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売	
従業員数：	連結：125名 個別：96名（2018年12月31日時点）	
連結子会社：	ビーエム機器株式会社 COSMO BIO USA, INC.	
非連結子会社：	株式会社プロテインテック・ジャパン	

© 2019 Cosmo Bio Co., Ltd.

4

研究者と仕入先を結ぶ
コスモ・バイオ



実験・研究・測定のために使われる薬剤

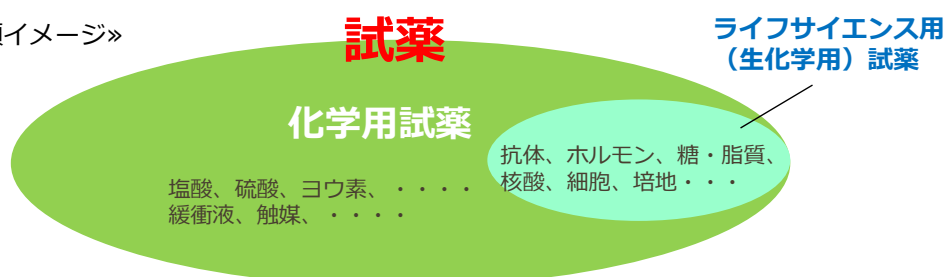
化学物質以外にも、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）やそれを反応させるための溶液など、多種類の試薬があります。

なかでも・・・**ライフサイエンス用（生化学用）**は、
・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
・数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
（体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる）



逆にいうと、体の中のこんなに少ない量の成分が何かしらのはたらきをして
いるということ。

《試薬の分類イメージ》



事業の内容 – 機器・器材・消耗品とは –

実験・研究・測定で使われる

- ・ 測定機器
- ・ 反应用機器
- ・ 手袋
- ・ ピペット
- ・ プレート
- ・ チップ
- ・ . . .



マイクロウェルプレート



チューブ

BIORUPTOR II



電気泳動装置



超音波破碎装置



事業の内容 – 商社機能・メーカー機能 –

商 社 機 能

世界中の約**600社**の仕入先



世界各地にある最先端の商品を導入し、
「分かりやすさ」「安心・安全」を
付加価値として研究者の皆様に提供

メーカ一機能



札幌事業部にて
自社品の開発・製造
自社受託サービスの提供

商品提供で充足できないニーズに
対し、自ら作る、サービスを提供
することでソリューションを提供

研究者に最新の商品とサービスでソリューションを提供

●膨大な商品と多彩なユーザーニーズの「マッチング」

世界のメーカーから仕入れる膨大な商品ラインアップ（＝シーズ）の中から、研究者にとって有用な商品（＝ニーズ）を選び出し、タイムリーにお届けする。商品とユーザーの「マッチング」こそが、最も重要な私たちの役割であり真髄。これを実現させ、商品購入前のお問い合わせから購入後のフォローまで、迅速かつ丁寧に対応。



●適切な温度管理

試薬の多くは、タンパク質や核酸・細胞など、生物由来の物質、いわゆるナマモノであり、仕入から保管、お届けまで厳重な温度管理が必要。各種温度帯を備えた倉庫、入出荷ノウハウにより、適切な温度管理で商品をお届け。



●関係法令・規制

◆動物検疫

商品が動物由来、もしくは動物由来の成分を含む場合、輸入・輸出の際には動物検疫対象となる。専門知識により、迅速に対応。

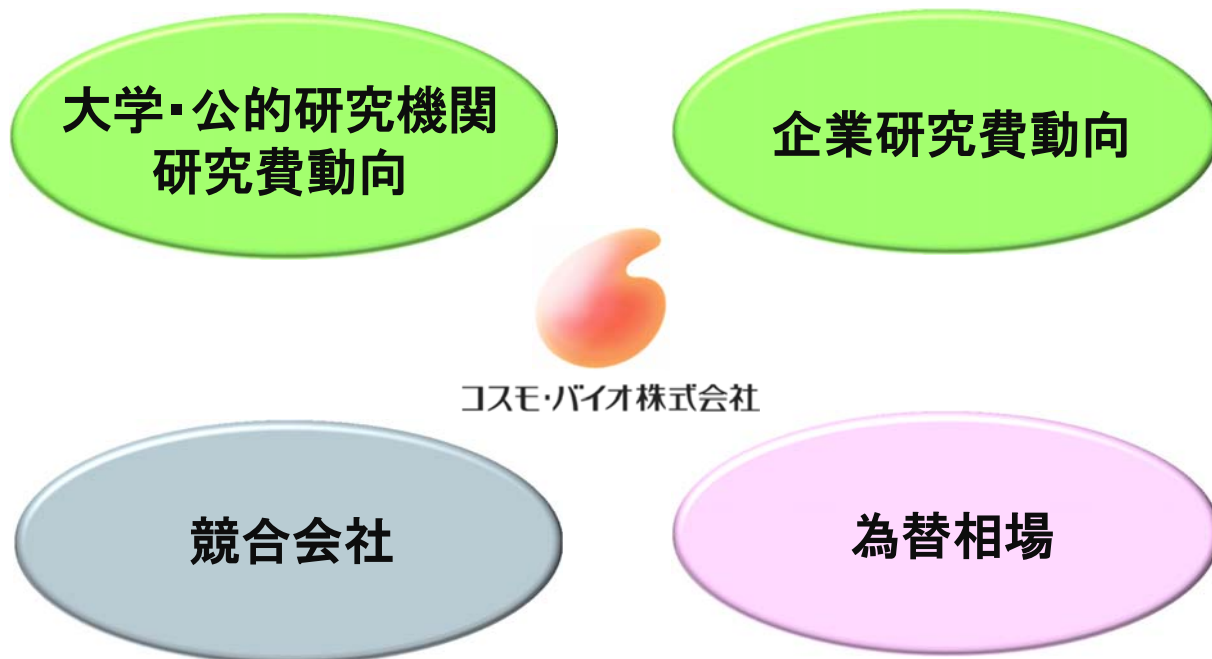
◆使用・保管への注意

商品には、毒劇物・薬物・危険物・遺伝子組換え物質等の、法律で取扱いが厳しく定められているもの、有機溶媒など廃棄規制があるものがあり、商品取扱いに関する情報も適切に提供。

2. 2018年当社を取り巻く事業環境

2018年事業環境について

当社を取巻く環境



2018年事業環境について

大学・公的研究機関研究費動向

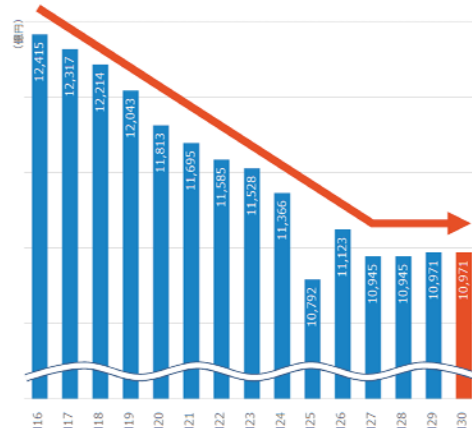
政府予算はほぼ横ばい傾向が続いている。競争的資金のひとつである科研費については、2018年度予算は対前年度2億円増額の2,286億円で、各大学・公的研究機関の予算執行の鈍化がみられる。また、近年のiPS研究の臨床応用開始に伴い、予算配分が再生医療関連に偏りがちな傾向がみられる。

科学研究費補助金の予算額の推移



文部科学省HPより

国立大学法人運営交付金予算額の推移



(注) 平成29年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費(45億円)を含む
(注) 平成30年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費(89億円)を含む

2018年事業環境について

企業研究費動向

医薬品企業関連においては、基礎研究の拠点の統合等の影響があるものの、受託サービス等の需要が増加し、結果として基礎研究分野の資金投資は微増から横ばい傾向が継続。

競合会社

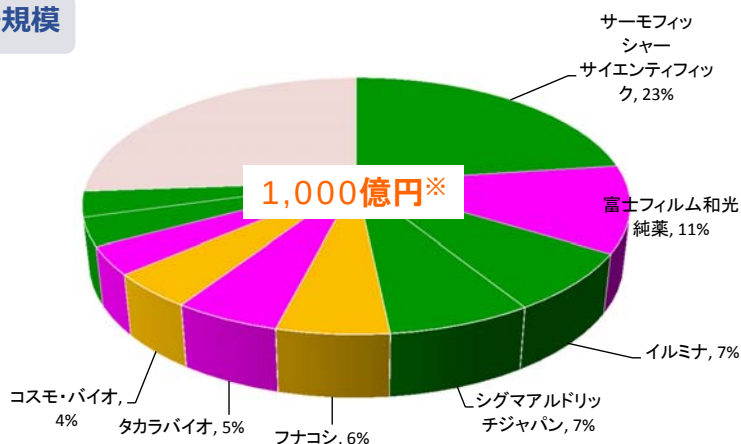
市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための価格競争は継続。

ライフサイエンス研究用試薬の市場規模

◆競合会社のパターン◆

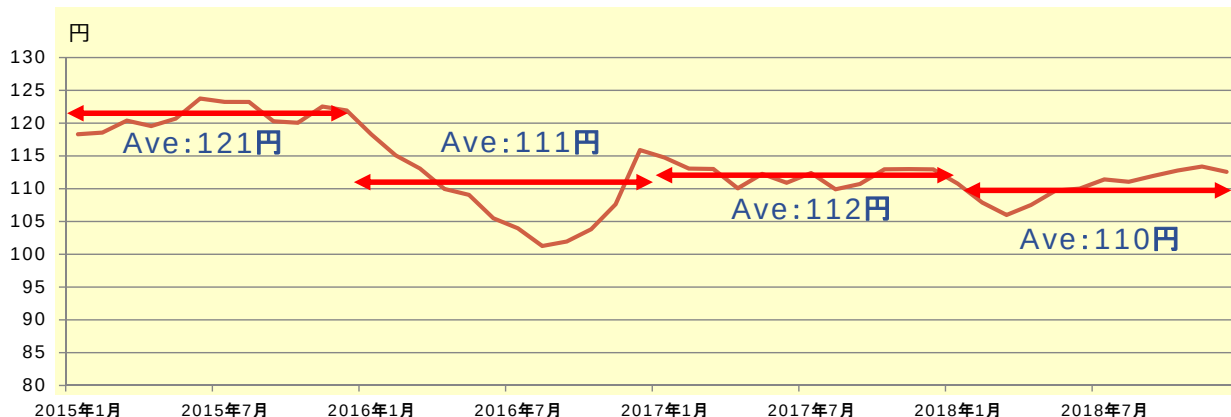
- 1 海外企業の日本法人
- 2 大手企業の子会社・部門
- 3 商社

※矢野経済研究所調べ



2018年事業環境について

為替相場

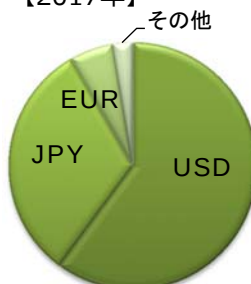


- ・為替変動により利益に影響
(円安では仕入原価・コスト高)
- ・為替予約により為替変動リスクを軽減

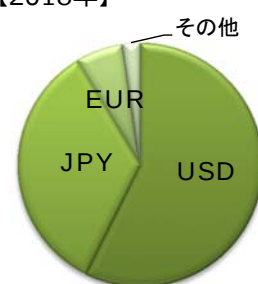
平均為替レートの推移 (円/ドル)

2015年	2016年	2017年	2018年
121円	111円	112円	110円

【2017年】



【2018年】



3. 2018年の取り組み成果と 今後の取り組み

www.cosmobio.co.jp

2017年からの取り組み（3ヶ年計画）



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

経営ビジョン

『生命科学の研究者に信頼される事業価値を高める』

重要課題

研究者から信頼を戴く

既存事業基盤の強化

新たな事業基盤の創出

企業価値の向上

2017年からの取り組み（3ヶ年計画）

既存事業基盤の強化

商社として

情報力

情報の即時発信
製品の性能
法令・納期

製品力

特長のある商品・サービス
適正在庫、納期短縮

提案力

課題解決型営業の強化
ユーザー密着型の
営業体制

メーカーとして

開発力

自社製品・サービス
産学官連携の強化

新たな事業基盤の創出

- 新規事業の創出 – 従来とは異なる成長分野を積極的に開拓
- 資本・業務提携 – 競争力の維持・強化、事業拡大、コスト削減

企業価値の向上

- 業務効率化
- 人事評価制度改革
- リスク管理
- CSR活動

新たな事業基盤の創出・メーカー機能の強化（一例）

鶏舎の増築（2019年2月稼働）

遺伝子改変ニワトリを用いたタンパク質製造事業の実用化・拡大のため、鶏舎を増築。2019年2月より稼働。

◆2018年8月に、「鶏卵バイオリクターを用いた組換えサイトカイン製造実用化研究」が A-STEP に採択。

<概要>

課 題 名: 鶏卵バイオリクターを用いた組換えサイトカイン製造実用化研究

代 表 機 関: コスモ・バイオ株式会社

共同研究機関: 国立研究開発法人産業技術総合研究所

予 定 期 間: 平成30年10月から2年6ヵ月

総 額: 81,682千円(共同研究機関配分を含む)

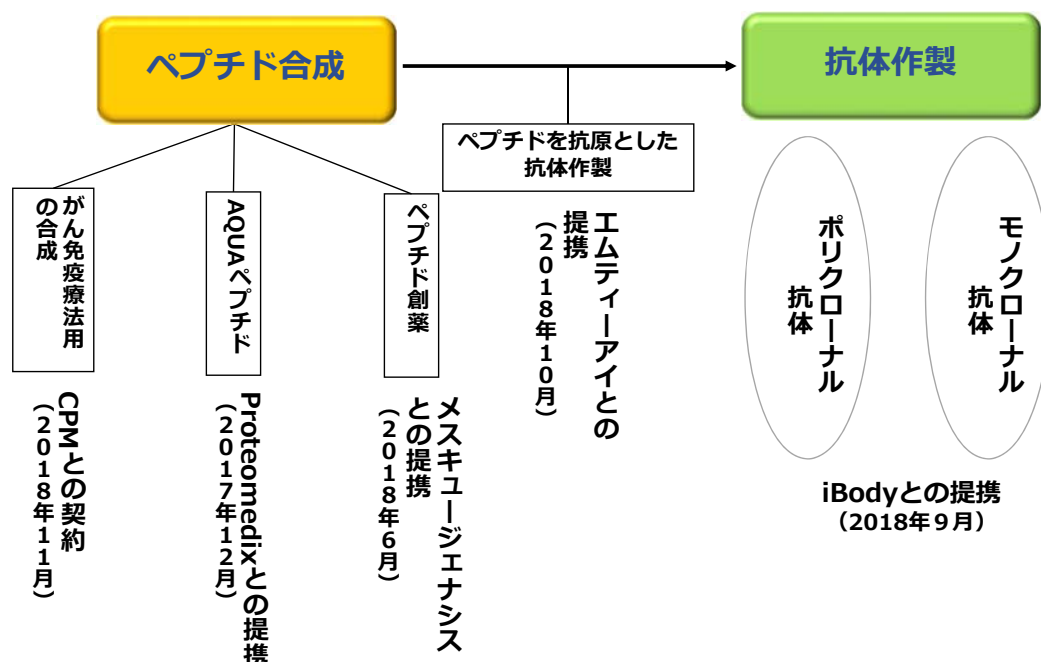
2019年より研究用試薬として販売を開始する予定。

今後は、生産する標的タンパク質を研究用に限定せず、各種素材、再生医療関連、動物医療関連分野などにも幅広く応用可能な技術にする為の実用化研究を行っていく予定。



ペプチド合成・抗体作製受託事業の拡大

2016年12月より開始した「ペプチド合成・抗体作製受託事業」の周辺技術をもつ企業と提携することで、事業拡大を目指す。



商品検索システムのリニューアル（2018年9月）

商品検索システムを、使いやすくリニューアル。

◆ 検索速度の向上

大量データを高速に処理できるシステムにリニューアル

◆ デザインを一新

- ・ 検索結果からさらに複数条件の絞り込みが可能に
- ・ 検索結果に検索条件・絞り込み条件を表示

◆ カテゴリ特化検索

- ・ 「抗体検索（抗体百科）」に加え、「タンパク質」「化合物」「ELISA/ELISpot」の各種カテゴリ特化検索を追加
- ・ 抗体検索（抗体百科）に二次抗体検索機能を追加

◆ 商品選びのための情報を充実

- ・ 蛍光標識の波長情報やキット商品の適用サンプル等、商品情報を充実
- ・ 参考文献、使用文献情報提供の充実
- ・ 実績値による納期情報に加え、従来の納期目安を見直し、より細かな情報を提供



在庫の最適化・営業活動強化

当社および子会社（ビーエム機器）の在庫量の適正化

	2017年末	2018年末	増減
たな卸資産（百万円）	1,279	1,011	△267

◆コスモ・バイオ 小さい（少量）・温度管理必要な商品を、飛行機で仕入れ

取扱い品目の1,400万点からの最適在庫をめざし、2016年に変更した在庫ロジックが、有効期限切れによる商品廃棄減にも寄与。

◆ビーエム機器 軽くてかさばる商品を、船で一括仕入れ

研究用消耗品の一括大量購入のため滞留していた在庫を、キャンペーンや販売強化等の営業活動により効果的に販売。

売上データの詳細解析による販促強化

SAPの活用、データ整理により、売上データのより詳細な解析が可能に。

今後の取り組み

商社かつメーカーとして研究者をサポート

3ヶ年計画を継続し、将来に向けた取り組みを展開。

将来のためにいまやるべきこと

- ✓ 既存の商社としての機能の品質を保ち、さらに向上させる
 - ✓ 利益率の高い商品・サービスの比率を高める
 - ✓ 「自らによるサービス+導入サービス」の比率を高める
 - ✓ 「自らによる製品」の比率を高める（利益確保、為替に左右されない収益構造の確立）
 - ✓ 海外販売の拡大（子会社COSMO BIO USAの事業拡大）
 - ✓ 働きたくなる会社への変革（オフィス改装、業務効率化）
- 他

海外輸出業務の子会社への移管（2019年より）



2019年1月より、海外輸出業務の体制を変更。

従来

- 米国向け販売：
COSMO BIO USA
- 日本・米国以外向け販売：
当社海外営業部から、
各地域代理店または
直売



2019年1月以降

- 日本以外全世界向け販売：
COSMO BIO USA
※海外営業部は廃止

- 日本からの情報発信ではなくグローバルな情報発信へ
- 当社からの販売先をCOSMO BIO USAのみに集約することで、国内人員の再配置を行い国内事業を促進

働きたくなる会社への変革



2019年5月にオフィス移転を予定

（同じビル内で、オフィスフロアをこれまでの8階・1階から9階に集約）

◆目的

- ・ ビーエム機器とコスモ・バイオ、プロテインテック・ジャパンの
協力関係（シナジー）強化
⇒ 営業部門のシナジー、管理部門の業務効率化
- ・ 働きやすい環境整備
⇒ コミュニケーション・会議エリアの充実
IT環境の整備
- ・ 賃料の値上げ対策
⇒ 省空間による事務所経費の圧縮



新オフィスエントランスイメージ図

創生CBP 働きたくなるプロジェクト

役割：

社内だけでなく3社のコミュニケーション、レイアウト含め、情報共有など問題点を解決しながら社員の働きたくなるような環境をつくり、生産性向上を目指し、会社も成長するプロジェクト

4. 決算の概要および業績予想について

www.cosmobio.co.jp

連結決算対象会社について



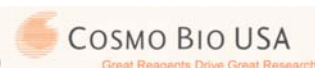
① ビーエム機器株式会社 (2010年より連結開始)



事業内容：ライフサイエンス研究用の機器類、消耗品の輸入および国内販売

コスモ・バイオが研究用試薬を、ビーエム機器が研究用機器・器材・消耗品を扱うことで、試薬と機器両面からの研究サポートを実現。

② COSMO BIO USA, INC. (2018年より連結開始)



事業内容：北米を中心とした新規商品・仕入先の探索および仕入販売・販売促進 (2019年からは輸出商品の海外市場での販売全般)

コスモ・バイオの仕入先 (北米) の探索のほか、コスモ・バイオの輸出品、COSMO BIO USA 独自の仕入先商品の米国ユーザーへの販売を行う。

2018年より、COSMO BIO USAを連結対象に追加しています。

売上高

- 2016年の大手仕入先との契約終了による売上減を取り戻す計画で当初予想を7,500百万円（前年比6.1%増）としたが、1年を終え、予算未達の7,261百万円（前年比2.7%増）となった。

利益

- 前年から引き続き減価償却費増、研究開発費増の計画等により、営業利益は前年並みを見込んでいたが、販管費の効率的な運用等により328百万円（前年比70.1%増）となった。
- 経常利益は、前年に計画外の投資事業組合からの出資金分配益があったため大幅減を見込んでいたが、営業利益の増もありほぼ横ばいとなった。

連結損益計算書

（金額単位：百万円）

	2017年	2018年		前年比増減	当初予想比増減	
		当初予想	実績			
売上高	7,068	7,500	7,261	2.7%	△3.2%	注1
売上総利益	2,532	-	2,659	5.0%	-	注2
販管費	2,339	-	2,330	△0.4%	-	注3
営業利益	193	195	328	70.1%	68.4%	
経常利益	397	245	403	1.6%	64.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	237	150	260	9.4%	73.6%	

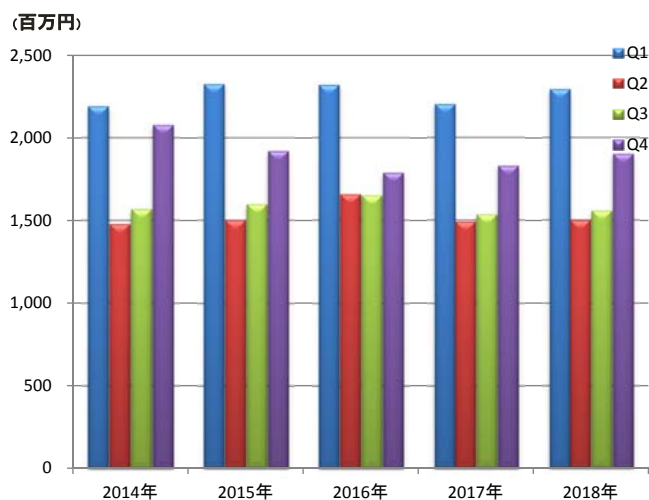
注1 2016年度に大手取引先との契約終了が複数件あり、マイナスとなる売上分を他商品の売上で充当する計画であったが、計画未達。

注2 粗利率は35.8%から36.6%へと若干の増加。COSMO BIO USAの連結が寄与。為替は前期平均112円/ドルに対し、当期平均110円/ドル。

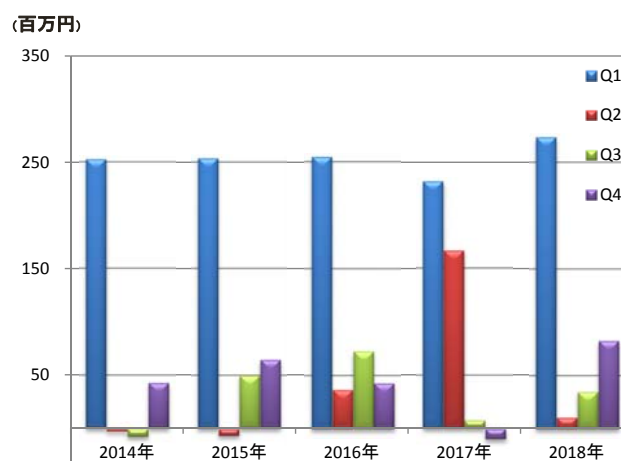
注3 販管費は連結範囲の増加等により前年比増を計画していたが、対計画で約7%節減。

四半期別動向（売上高、経常利益）

売上高



経常利益

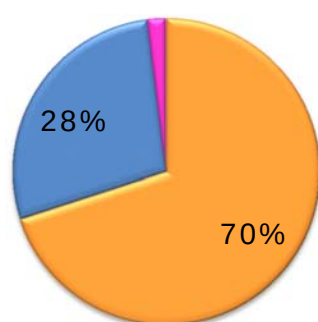


【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている。

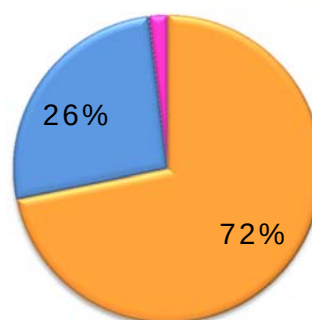
【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

商品分類別連結売上高

2017年実績



2018年実績



(金額単位：百万円)

連結	2017年実績		2018年実績		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	4,947	70.0%	5,216	71.8%	268	5.4%
機器	1,981	28.0%	1,903	26.2%	△78	△3.9%
臨床検査薬	139	2.0%	141	1.9%	2	1.8%
合計	7,068	100.0%	7,261	100.0%	192	2.7%

傾向として研究用試薬・機器・臨床検査薬の割合に大きな変動はなし。機器販売比率が若干低下。

連結貸借対照表

	(単位：百万円)		
	2017年12月末	2018年12月末	増減額
資産合計	8,126	8,501	375 注1
流動資産計	5,143	5,668	524
固定資産計	2,982	2,832	△149
負債純資産合計	8,126	8,501	375
負債計	1,288	1,448	159
純資産計	6,838	7,053	215 注2
自己資本比率	78.5%	77.4%	

注1 資産の増加：商品及び製品△255、現金及び預金+684

注2 純資産の増加：親会社株主に帰属する当期純利益+260、剰余金の配当△82、連結範囲の変動+37

連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)		
	2017年 実績	2018年 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	89	908	819 注
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235	△185	49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109	△85	23
現金及び現金同等物の増加額	△264	636	900
現金及び現金同等物期末残高	1,383	2,068	684

注 営業キャッシュフロー増加：
税前利益+403、たな卸資産+282、減価償却+178、法人税等の支払額△105等

2019年12月期の連結業績見通し

(単位：百万円)

	18/12月期 実績	19/12月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	7,261	7,400	138	1.9%
営業利益	328	200	△128	△39.1%
経常利益	403	250	△153	△38.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	260	140	△120	△46.2%

平均為替レート	18/12月期 実績	19/12月期 予想
円/USドル	110円	115円

売上高：積極的な営業活動、自社製品・サービスの売上げにより、2016年水準の売上への回復を見込んでおります。

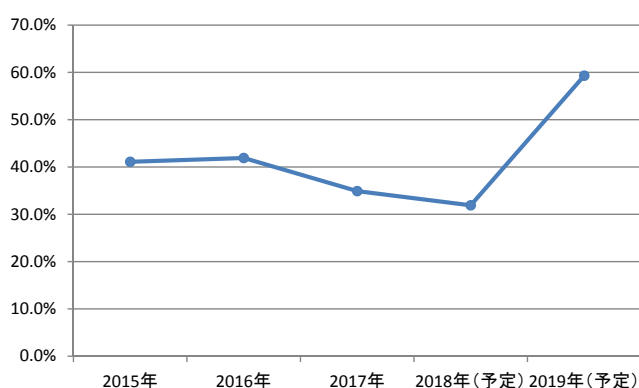
営業利益：仕入原価の増加を見込み、販管費においてIT投資等を積極的に実施する予定です。

配当について

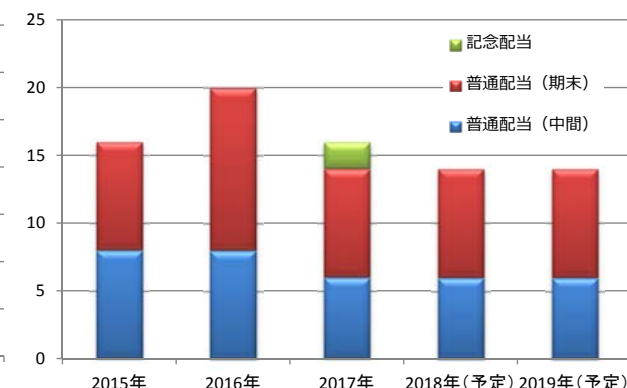
	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2018年 12月期	6円	8円 (予定)	14円 (予定)

2019年は、2018年と同額を見込んでおります（連結配当性向（予想）は59.3%）。

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

以下、ご参考資料です



	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年
売上高(百万円)	7,235	7,357	7,427	7,068	7,261
経常利益(百万円)	285	373	483	397	403
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	201	230	254	237	260
純資産額(百万円)	6,532	6,378	6,581	6,838	7,053
総資産額(百万円)	8,161	7,790	7,934	8,126	8,501
1株当たり純資産額(円)	1,020.56	1,003.87	1,034.90	1,076.35	1,110.06
1株当たり当期純利益(円)	34.02	38.89	42.93	40.15	43.93
自己資本利益率(%)	3.3	3.8	4.2	3.8	4.0
総資産経常利益率(%)	3.5	4.7	6.2	5.0	4.9
株価収益率(倍)*	43.9	27.6	29.2	27.9	20.0
配当金額(単体)(円)	20	16	18	14	14
配当性向(連結)(%)	58.8	41.1	41.9	34.9	31.9
純資産配当率(連結)(%)	1.9	1.6	1.8	1.3	1.3

* 株価は12月期の末日終値



ライフサイエンス研究



● ライフサイエンス研究
は・・・

医療分野だけでなく、
私たちの生活を支える
経済や社会の発展にも
大きく役立っています。

コスモ・バイオは
研究に必要な
薬品 (= 試薬) や
**実験道具 (= 機器、
消耗品)** を
世界各国から種類豊富に取り揃えて、ライフサイエ
ンス研究を支援しています。

取扱商品の一例

試薬

培地、緩衝液など

機器

小型実験機器

試薬

キット(試薬セット)

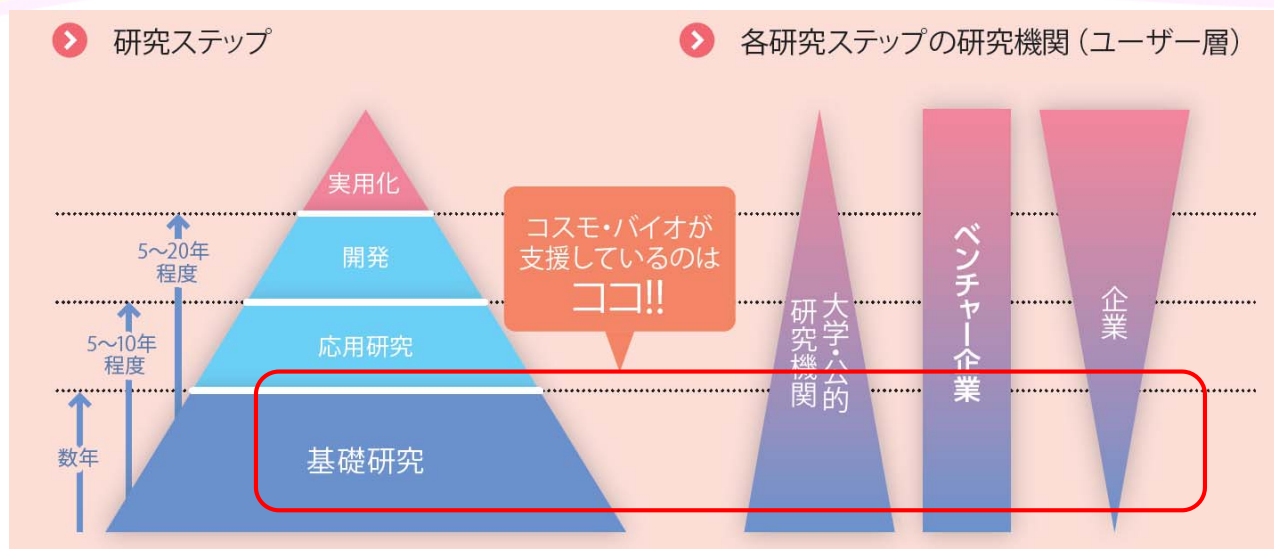
試薬

抗体・生理活性物質など

ライフサイエンス研究とユーザー層 -1

➤ 研究ステップ

➤ 各研究ステップの研究機関(ユーザー層)



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでには
とても長い年月がかかっています。
コスモ・バイオはその研究の第一歩である、「基礎研究」を行う
研究者向けに、研究用試薬・機器を販売しています。



大学

公的研究機関

企業

・国から提供される

- ー 運営交付金
 - ー 競争的資金(例:文部科学省の科研費)
- などの資金をもとに研究活動を行う。

理化学研究所(文科省)
産業技術総合研究所(経産省)
医薬基盤・健康・栄養研究所(厚労省)
...

製薬会社、食品会社、化粧品会社、ベンチャー企業、...

・各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、**基礎研究にどのくらい「投資」するか**の予算が組まれ、その資金をもとに研究活動を行う。

基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)

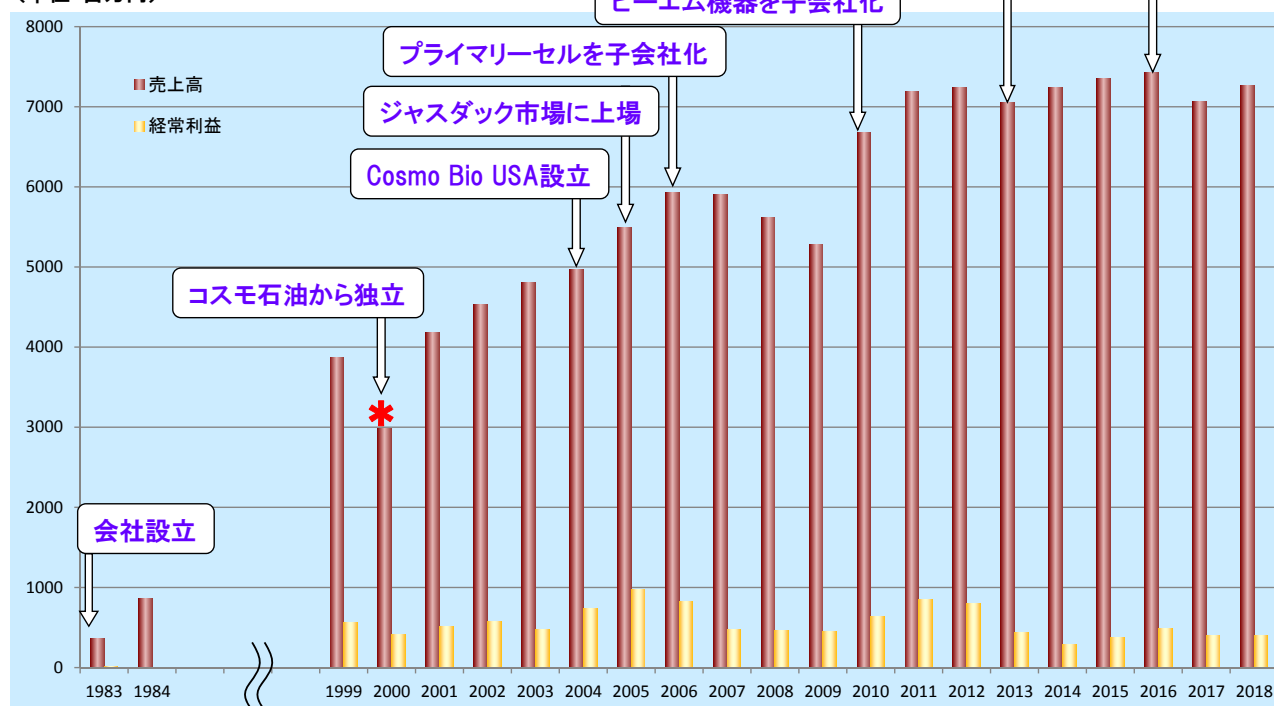


参考資料

当社の歩み



(単位:百万円)



*(2000年は4-12月の9ヶ月決算) 連結



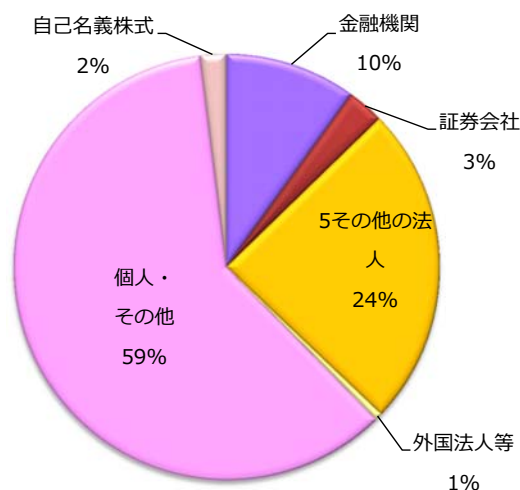
発行可能株式総数	18,361,600株
発行済株式の総数	6,048,000株
自己株式数	120,000株

株主数：5,408名

大株主の状況

株主名	持株数（株）	議決権比率（%）
東京中小企業投資育成株式会社	1,152,000	19.43%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 コスモ石油口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	576,000	9.72%
コスモ・バイオ従業員持株会	161,800	2.73%
株式会社ヤクルト本社	100,400	1.69%
新日本空調株式会社	89,600	1.51%

所有者別株式分布状況



『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一いきたい科学広場in宗像』

【講座の一例】



『消化管体験ツアー』

食道から大腸まで、子供が潜り抜けられるトンネル構造模型です

『iGEM生物ロボットコンテスト
参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

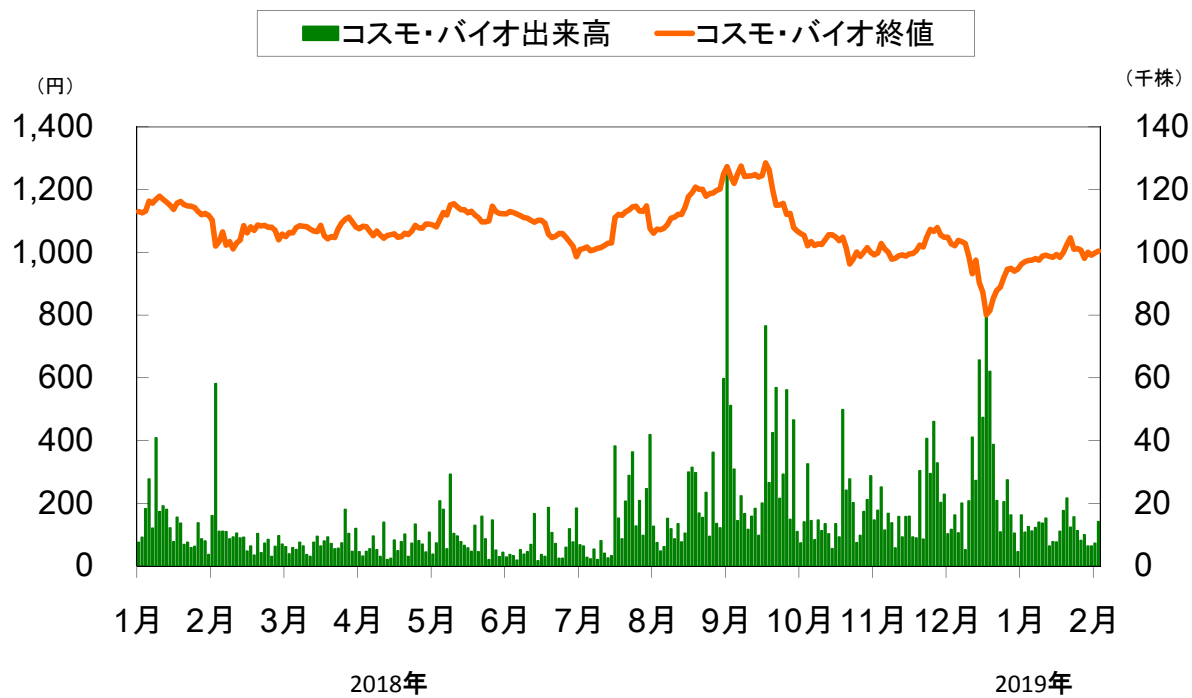
『北海道大学』

【参加された
チームの一例】

『Science Signaling』



米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています



前日 (2月15日) の終値 : 1,004円